

## 会議録

会議名	第5回（仮称）宇都宮市国際化推進計画策定懇談会
開催日時	平成21年2月24日（火） 午前9時30分～午前11時30分
開催場所	宇都宮市役所 14階14B会議室
出席者	委員 田巻松雄，白井佳子，和田佐英子，上野和夫，酒井昭二，中田隆人，半貫光芳，石川アテナ，福泉水玲，阿久津容子，黒瀬裕二（11名 敬称略）
	事務局 市民生活部次長，国際交流プラザ所長，事務局職員2名
公開・非公開	公開
議事	1 第4回「（仮称）宇都宮市国際化推進計画」策定懇談会議事録について 2 報告事項 ・パブリックコメントの実施結果について ・計画の修正点について 3 審議事項 ・懇談会意見書(案)について ・計画の原案について
次第	(1) 開会 (2) 第4回の議事録の確定 (3) 報告事項 パブリックコメントの実施結果および計画の修正点について ・事務局から資料2・3に基づき説明・協議 (4) 審議事項 提言書及び計画原案について資料4～6に基づき説明・協議
会議の結果	・提言書および計画原案について了承
<b>発言要旨</b>	
<b>【報告事項 パブリックコメントの実施結果・計画の修正点について】</b>	
委員	・日本語ボランティアのための施設利用については、今後大きなウェイトを占めてくる事業でもあり、地域を重点化していくことも重要だ。施設の使い方について配慮が必要なのかもしれない。
事務局	・施設の優先利用については現実的には難しい現状があるが、もう少しやわらかい表現に修正する。
委員	・施設を利用しやすくする、場所を提供するという行政の役割について、やわらかい書き方をお願いしたい。
委員	・施設を優先して使いたい気持ちは分かるが、行政のルールで止むを得ず、対応が難しい場面もある。前回の計画に比べ、今回のパブリックコメントでこれだけ意見が出てきたということは多文化共生に関する意見が反映されて良かったことと思う。
<b>【審議事項 懇談会提言書について】</b>	
委員	・地域コミュニティについて、自治会の加入率と地域の連帯意識は現実的には比例しない。共稼ぎという世帯が多い中、近隣との付き合いやコミュニケーションを凶ることが難しい。連帯意識の低下がむしろ大きな課題である。日本人同士の意識が希薄なところに、さらに在住外国人との連帯感をどうしていくかが課題であるう。

- 委員
- 多文化共生について、日本語学習の拠点として国際交流プラザがあるが、日本語を学びたいと思っているが、日本人と働く時間帯が異なる在住外国人にとって、もっと身近な場所で積極的に展開して欲しい。地区市民センターでの展開や特に大人の出前講座などを重視すべきであり、地域での展開に期待するものである。
- 委員
- 身近な場所での積極的な展開が今後重要になってくるものと考え。多文化共生のリーダー育成に当たって、発掘という表現ではなく、そのようなやる気のあるリーダーとなる人材と密接に協調していくことが大切なことである。
- 委員
- 人材の発掘が最も重要なのではなく、自前で育てていくことも重要である。
- 委員
- リーダーとなる人材を重用していくというイメージになると思う。
- 委員
- 4ページの国際理解に関して、日本人に対する教育等を十分にすべきであるという箇所は「教育」ではなく「意識啓発」としたほうが良い。
  - また、5ページの「やむをえない事情で不法滞在している」という表現だが、事情のうしろに「等」を入れて、様々な事情が背景にあることを表現したほうが良い。
- 委員
- 3ページの子どもの教育のところ、母語の維持・活用は見落としがちだが大切な箇所である。
- 委員
- 4ページの地域リーダーの箇所だが、日本人だけでなく、外国人の地域リーダーについても意識して入れたほうが良い。
- 委員
- 地域リーダーの育成は行政の大切な事業。一義的な責任は行政にあり、民間が次に続くような感じになるだろう。日本人も外国人も地域リーダーにふさわしい人もいるので、両方読み取れるようにすべきだ。
- 委員
- 人材の育成においても積極的な役割を担うべきである。
- 委員
- ボランティアの記述について、現状を踏まえて「地域で活動できるボランティア」を育成し、という形にしてほしい。各地域でのボランティアの育成が大切である。
- 委員
- ボランティアの活動は経済的なゆとりの有無ではなく、活動を継続的に行うことが大切であり、そのための支援が必要。
- 委員
- 景気後退は社会の余力を削いでしまうものであり、社会の余力がなくなっている現状があるが、ボランティアが継続できる環境づくりも大切だ。
- 委員
- ボランティアを長期にやっていく上では支援や手当がなければ難しい現状もある。
- 委員
- 3ページの⑤市民協働について、のところでNPOだけではないのでカットして、「個々の活動を…」としても良い。
- 委員
- 5ページから6ページにかかる「不法滞在」とされる在住外国人への支援だが、「そのような民間団体もあることから」と表現し、理由付けをはっきりさせたほうが良い。また、この意味合いは？

会 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が直接不法滞在の人に支援するのは難しいので、一つの手法として、支援を行っている民間団体を間接的に支援する必要があるのではないかと意味である。なお、この提言書をまとめるに当たり、「行政」という表現と「市」という表現の使い分けについて整理を行ってきたところである。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5ページ「国際交流協会」については、民間団体としても良いのではないかと。行政との協働は大変なことではあり、他にも団体はたくさんある。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核団体であることから、載せておいても良いのではないかと。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「宇都宮市国際交流協会をはじめとした民間団体」とすればよいのではないかと。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度後半からの景気悪化で雇用と生存の問題が顕在化したが、最近では外国人労働者の家庭の教育の問題にも波及しつつあるように思う。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人学校に子どもが来なくなり、学校には授業料が入ってこなくなり、経営が悪化している現状で、しわ寄せが子どもたちに来ている。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがこういう状況の中で悪い影響を受けないように、そして日本を嫌いになったり地域の中で荒れていくことがないように眼を配る必要がある。子どもの教育についても記述がほしい。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6ページに「大企業」とあるが、景気悪化にともなって労働者に影響を与えるのは大企業に限ったことではないことと、「影響を受けやすい」と直したほうが良い。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この提言書の提出に当たっては、多文化共生に長い時間をかけて議論をしてきたこと、特記すべき事項としてセーフティネットにかかる部分も今までとは異なる形で議論を行ってきたことを強調してほしい。</li> </ul>
【審議事項 計画の原案について】	
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会で育成した日本語学習ボランティアが講座終了後、積極的に地域で教えたいという意欲を持っている。こうした方のための場所の提供が課題になっている。行政からの後押しも必要だ。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市との共催や後援という形をとるとか、地域との連携など、計画を踏まえて中身を詰めていくとよい。</li> </ul>
【その他】	
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在住外国人も含む誰もが暮らしやすいまちづくりを目指す本計画により、在住外国人の数が上がっていくものと思われるが、政策的に政令市や道州制を視野に入れたまちづくりを進め、人口増や市税を払う市民の増加を図るという視点からも、在住外国人は本市を支える大切な人材であり、コミュニティの担い手である。積極的な在住外国人への施策を期待している。次回の策定時には、最低でも登録者数上位10カ国の在住外国人からの意見聴取も必要だろう。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会提言書受理は3月18日（水）午後2時を予定している。半年間という長い間にわたる審議を頂き厚くお礼申し上げる。今後も本市の国際化・多文化共生にご理解・ご協力のほど、よろしく願います。</li> </ul>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で、当懇談会を終了する。</li> </ul>

